

■二輪車販売の実務と情報

新春号

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.115

1973 **1** JAN.



'73ニューモデル第1弾

ヤマハ オートマチックメイト 新発売

# 謹賀新年



'73ニューモデル第一弾

# ヤマハ オートマチック メイト



らくらくメイトがさらにらくらく——魅力の商品で積極的なご商売を!

## V50A V50AB V70A V70AB



一九七三年、お店のみなさまとともに一大躍進を期すヤマハは、かつてない規模で、画期的な新機構をもり込み、バラエティあふれる魅力の商品群を発表してまいります。そして、その第一弾は、「ヤマハオートマチックメイト」です。

「らくらくメイト」で、もうすっかりおなじみのヤマハメイトに、まったく画期的な「オートマチック機構」を組込んだヤマハオートマチックメイト。

チェンジ操作は一切不要。アクセルコントロールひとつで思いのままに走れる画期的な機構。「オートマチック」は、らくらくメイトの乗りやすさを、さらに飛躍的に拡げたものです。

しかも、「らくらく設計」「安全設計」は一段と豪華にグレードアップ。

その効用性をさらに大きく切りひらいた、「ヤマハオートマチックメイト」は、より幅広いお客さまをガッチリとらえる魅力のニューモデル。

お店のベストセラーモデルとして、新春から、どうぞ存分にご拡売ください。

# イトのオートマチック機構

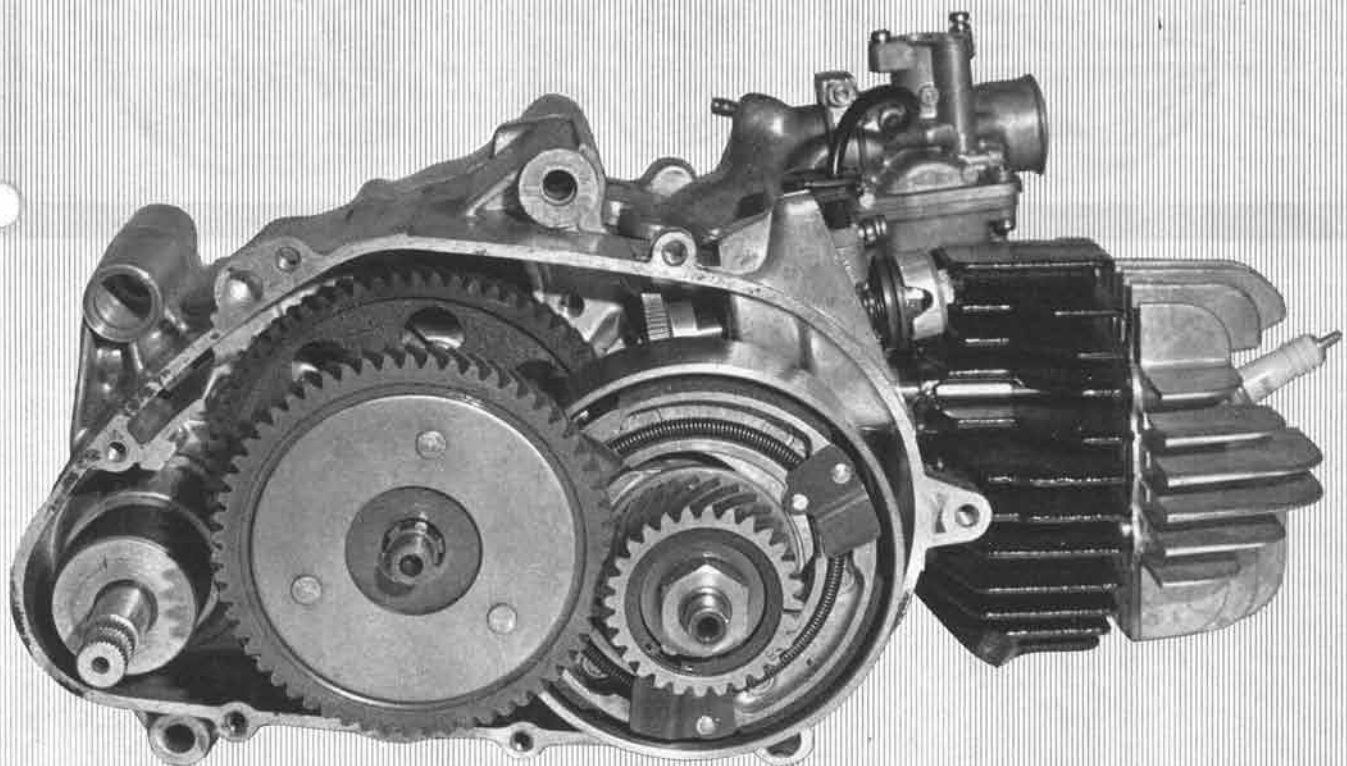


ヤマハオートマチックメイトのオートマチック・自動変速機構は、自動遠心クラッチによるチェンジレス二速式。

この画期的な機構の採用で操作は、アクセルのコントロールひとつ。発進、停止のくりかえしのような運転でも、わずらしさはまったくありません。

しかも、この自動遠心クラッチは、副変速機も装備。市街地や平坦なところはハイレンジで、山間部や急坂の多いところでは、ローレンジで——と、どんな地形をもアクセルひとつで、らくらく走れるのです。

そして、なによりもこの自動遠心クラッチは新機構のもの。耐久性にもすぐれ、お客さまへのアフターサービスもらくらくです。



# これが ヤマハ オートマチック メ

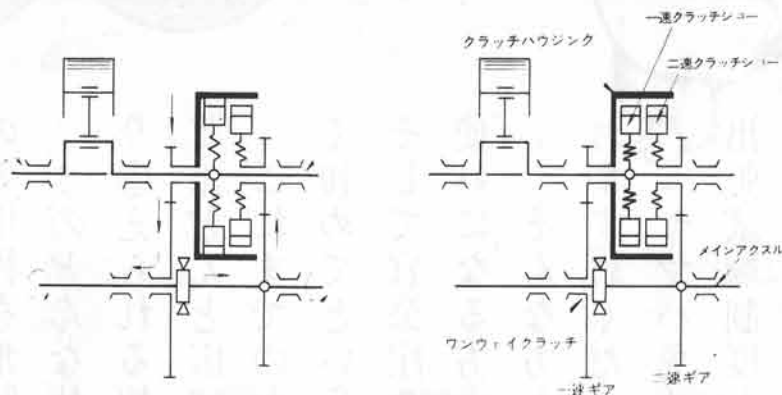
## グリップひとつでらくらく走る!



ヤマハオートマチックメイトのエンジンはどちらかといえば低速型の二段変速。しかし、副変速機がフットチェンジ・三速の範囲を完全にカバーします。通常の市街地や平坦地では、H・ハイレンジにセットしたままでOK。N・ニュートラルは寒冷時のアイドル用。そしてL・ローレンジは山間部や登坂用と、あらゆる走行状態にも完全です。

### ●副変速機でハードな地形もらくらく走る!

なお、このとき二速ギヤも、メインアクス



### ① アイドリング

エンジンがアイドルリング状態では、クラッシュシャフトとともに回転する一速クラッチシューは、遠心力でクラッチハウジングに押しつけられようとしますが、クラッチスプリングの力で引戻され、接触はしません。つまりクラッチが切れています。

### ② 発進と一速

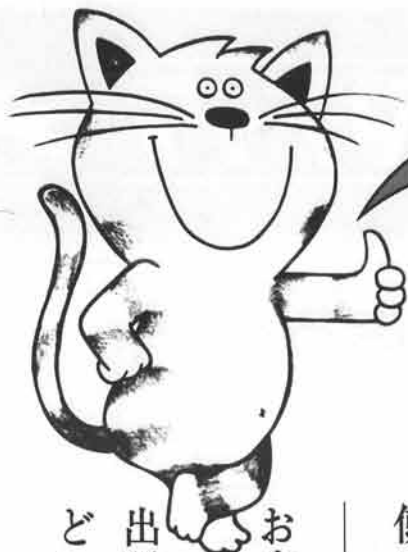
ところが、さらにエンジンの回転が上がる(二〇〇〇〜三〇〇rpm)、クラッチシューに働く遠心力は、クラッチスプリングの引戻す力にうちがたつて、シューはクラッチハウジングに接触し、クラッチがつながります。そして、クラッチ伝達トルクが走行抵抗を越えると、発進、そして一速接続です。

### ③ 変速と二速

さらにアクセルを開けて、エンジン回転が上がると、二速クラッチシューが遠心力でクラッチハウジングに接触します。二速へクラッチインです。さらに回転が上がって、二速クラッチの伝達トルクが、走行抵抗を越えると同時に二速接続状態になります。

### ●耐久性はバツグン!

なお、はじめてのお客さまには、原則的にNレンジで始動するように指導ください。このシュータイプ・二速自動遠心クラッチは、三個を一体として構成され、一本のクラッチスプリングで作動します。耐久性は抜群、それというのもクラッチシューの放熱が完全なためです。そして、クラッチのつながりはきわめてスムーズ。自信をもってお客さまにおすすめてください。



売りやすさ一番!!  
ヤマハオートマチックメイト  
で需要拡大!!

「グリップひとつでらくらく走れる」

——  
いうまでもなく、これがヤマハオートマチックメイトの最大のセールスポイントです。

この画期的なオートマチック・自動変

速機構の採用は、メイトタイプバイク

の効用性を飛躍的に拡大しました。

このどんな使い方にも、らくらく、ピツタ

り応えられる幅広い効用性は、お客さまの幅を

どんどんと広げてゆきます。

これまでのお客さまに加えて、オートバイはまった

く初めてという方、とくに女性やお年をめしたお客さま、

そして官公庁や商店など短距離、時間重視のお仕事でお

使いになる方——

——そんな方たちに「ヤマハオートマチックメイト」を  
おすすめください。

「ヤマハ免許教室コンクール」ももつか好評開催中、

出張試験制度も軌道にのって、拡販の素地も十分です。

どしどしご拡売ください。



新発売

ヤマハオートマチックメイトは、ピカーの性能、まったく簡単なライディング、加えてゴージャスな装い——と、このタイプのすべてのお客さまに、好みと用途に応じてお乗りいただけるものです。

V50とV70に、それぞれキャリア仕様のAタイプ、トランク仕様のABタイプ、カラーリングもハイスパークルグリーン、ハイスパークルブラウン、ハイスパークルオレンジの各3カラーがあります。

# ヤマハ オートマチックメイト

V50A/V50AB

V70A/V70AB

[写真はいずれもV50A/V50AB]



でらぐらく走る

# V50A/V50AB V70A/V70AB

機構”の採用で、より低速型に。新型マフラーで中低速トルクも一段とアップしました。

〔写真はいずれもV50A/V50AB〕

装い、安全性も一段とグレードアップしたキャリアタイプ・V50A。



大口徑になって、給入もらくらくのオイルタンク。オイルが規定以下になると、メーター部のパイロットランプが点灯する。



角型になったウィンカー、薄暮灯をはじめフロントグリルもより豪華に。



チェンジペダルがなくなって、スッキリまとまったフットレストまわり。ステップラバーも平らな角型に。

でらぐらく  
オートマチック機構に加えて  
“装備”も“安全性”も抜群





# ヤマハオートマチックメイト

らくらくメイトで定評のパワフル、リードバルブエンジンは、画期的「オートマチック」

グリップひとつ

トランクタイプのV50ABは、商店や官公庁など業務需要にもまさにピッタリ。



ABタイプは、新設計のシートの上に、トランクを装備。収容力の大きなトランクは、業務使用にピッタリ。トランクのキーは、エンジンキーと共用。ロック部は、ヘルメットホルダーにも…。



新型マフラーで、低速トルク、消音効果も抜群。ワンタッチキックも新方式になって、エンジン始動もさらにらくらく。



丈夫でスマートな大型キャリア。リヤウインカーも角型ニュータイプに。



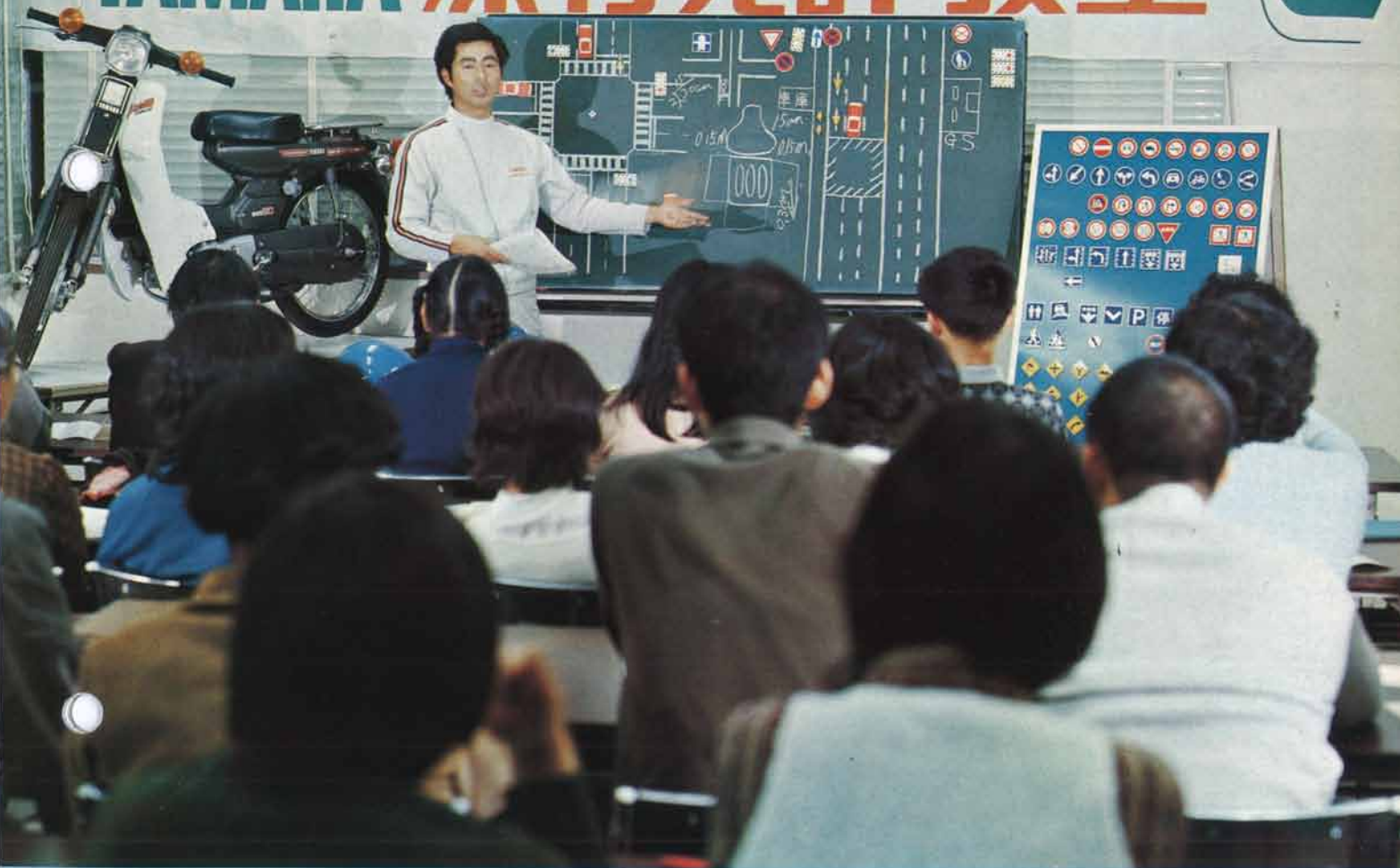
シンプルで見やすいメーター部。左下のランプがオイルインジケーター。オイルの減りも一目でわかる。

◆どうぞふるってご参加を!

ヤマハ運転免許教室コンクール開催中!!

'73/1月1日→3月31日

YAMAHA 原付免許教室



カット写真は、昨年十一月十七、十八の両日、伊豆七島の最南端・八丈島の唯一のオートバイ店・八丈モーターズさんが開催したヤマハ原付免許教室です。

八丈信用金庫ホールに約40名を集めて開かれたこの教室は、つづく十九日の出張試験で受講生全員合格という、みごとな成果を納めたのです。

これはほんの一例ですが、このように昨年四月の運転免許試験制度の改正以来「ヤマハ運転免許教室」の永年の実績が、大きくクローズアップされています。

新春一月一日からは、いよいよ「第2回ヤマハ運転免許教室コンクール」がスタート。この絶好の機会に、まさにピッタリのこの企画に、お店でも積極的にご参加ください。



《新しいお客さまを育てる》

# 第2回ヤマハ運転免許教室コンクールのあらまし

## ★コンテストの実施期間は――

昭和48年1月1日から3月31日までの三ヶ月間。

## ★対象となるお店は――

もちろん対象は、フレンド店のみなさま全てですが、あらかじめコンクール参加をヤマハに申し込んでいただくことが、コンクール参加の条件となります。

## ★コンクールの審査は――

期間中のお店の運転免許教室開催結果を、三月末日所定の報告書にご記入のうえ、ヤマハ安全運転推進本部（ヤマハ発動機本社内）にお送りいただきます。

## ★豊富な教材、強力なバックアップ――

ヤマハ運転免許教室には、豊富でわかりやすい教材、どこでも、どんな規模でも開講できるスライドや、安全運転指導ボードなども用意されています。

また、経験豊かなインストラクターの派遣ラジオや専門紙誌などマスコミを使った強力なPRなど、お店の教室開催には、ヤマハが強力にご援助します。

## お店にもたくさんの特典があります

★コンクール参加のお店には、すべて「試視力、色弱検査表」を贈呈します。

★期間中の成果によって「運転免許教室指定店」を指定、外装用ペナントを贈呈します。すでに、指定店のお店には、店内用「免許相談コーナー」ペナントを差し上げます。

★「運転免許教室指定店」になっていただくためには――

- ①コンクール期間中に、三回以上免許教室を開催。
- ②受講者が、のべ20人以上。
- ③合格者が12人以上。

★右の基準に達したお店には、さらに――

- ①基準に達したお店には「ヤマハ発動機支店長表彰」を行います。
- ②地区の最優秀店には、便利な「安全運転指導ボード」を贈呈。

★さらに、指定店のご主人には、「二輪車安全運転指導員」におなりいただくため、ヤマハが積極的にご協力します。



## お客さまにも、すばらしい特典！

★コンクール期間中に、「ヤマハ運転免許教室」を受講されたお客さまは、三ヶ月間限り「ヤマハS.L.クラブ」の準会員になれます。したがって、S.L.ニュースの配布、S.L.行事への優先参加などの特典があります。さらに、この期間中に、運転免許を取得されたお客さまには、もれなく「合格記念品」をさし上げます。

〔さらに詳しくは、担当のセールスマンにご相談ください〕

# やるぞ、ことしも!

《座談会》

## 多大な成果をあげた '72トレール杯モトクロス

トレール杯で生まれたお客さまとの連帯を、さあ'73シーズンもさらに伸ばそう。



一年目とはいえ、きわめて大きな成果を納めたトレール杯モトクロス選手権シリーズ。その充実ぶりは、昨年十月から十二月にかけての、各地区ブロック大会の盛大な盛り上がり、示していたとおりです。そして、ここ中部ブロックでは、十一月十九日の中部大会で、「一年間レースの運営、お客さまのリードに当られた販売店のみなさまごくろうさま」と、お店のご主人だけのレースも開かれました。そして、レースが終るとすぐにお店のみなさんにお集りいただき、トレール杯一年の成果と、今シーズンへの期待を語りあっていたできました。

●ご出席いただいた方がた(敬称略)

オートスポーツ名古屋 (愛知県春日井市)	……	沢口 恒康
伊藤モーターズ (愛知県津島市)	……	伊藤 憲尚
古田モーターズ (愛知県渥美郡)	……	古田 信弘
ハルオモーター (愛知県常滑市)	……	竹内 正広
渡辺 商会 (三重県鈴鹿市)	……	渡辺 登志美

〈司会〉

ヤマハ発動機・名古屋支店普及本部

……… 志賀 泰紀



販売店レースでは、参加者のお客さまの大声援。



## \*やっつてよかった!!TCMS

**司会** みなさん一シーズン、ほんとにごくろうさまでした。一年目ということで、トレール杯の成果はもちろん、今後の課題も多いと思います。みなさんのお店にとって、72シーズンはいかがでしたか。

**竹内** 私のところは、トレール杯に一年間積極的に参加し、まず成功したといえます。

初めのころは、お客さまのほとんどが市販車クラスでしたが、シリーズ戦が進んでくると多くの方が、改造車クラスに上がってくるということで、トレールからMXへというお客さまが多かったです。

スポーツクラブ・TRC(常滑レーシングクラブ)は、いま十五名の会員がいますが、これもTCMSから生まれたものです。

**沢口** 私はいまの所(愛知県春日井市)に

店をオープンして、まだ間もないのですが、たしかに市販車クラスに出場するお客さま、

つまりモトクロスの底辺ですネ、彼らがモトクロッサーに移り、改造車部門に参加するということですが、われわれにとっては重要なポイントですね。

**古田** たしかにそうですね。それとトレール杯に参加する若いお客さまが、友達や仲間たちをお店やレース場につれてきてくれる、そんな人の中から、「オレもひとつ……」というところで、多くの面で成果はあがっていますね。

**伊藤** それは、トレール杯が市販車クラスなどもあつて、誰れでも参加できるからということでしょう。しかし、もうひとつ販売店としてのベースに乗せるということであればせつかく、こんなにすばらしいトレール杯のシステムを生かすためには、ルールだけでなく周囲の条件も、ほんとに誰れでも参加できるように……ということですね。

**古田** そう、本格的にモトクロスをやろうという人は、どんな遠い所のレースにも行くけれども、市販車クラスの人は、やはり近所でレースがあれば……と、どうしてもなってしまう。

**竹内** 練習場所やトレールランド利用などの問題もありますね。

**渡辺** それと、賞典ね。いつも入賞している人は、どんどんおもしろくなっていくけれども、逆にいつも予選落ちなんて人はしだいにいやなっちゃうこともあるし。まあ、われわれとしては、なんとかガンバッテもらうようにはしていますけど。(笑)

## \*トレール教室を再認識しよう!

**司会** 成果は大いにあがってはいる、しかしさらに73シーズンのためには、というお話し系の糸口が出てきたようですが……。

**伊藤** 誰れでも参加できる、ということとミニレースはすばらしかったと思います。それに市販車クラスも。

**古田** となると改造車クラスですね。これは絶対に基本不足だと思っんです。まずモトクロスをやってみよう、とMXに乗る、しかしいきなり自己流で始めてもそれほど向上しないという。そこで、私はトレール教室が絶対に必要なことだと思っわけです。

トレール杯モトクロスとトレール教室は、絶対に併行して開催しなければいけないと思っますね。

**沢口** 底辺をひろげるということからもそれは確実にいえることですね。それと、改造車については、ノービスとはいえないまでは大分ひらきがありますから、本当に初心者だけのクラスなんか設けたらおもしろいと思っます。たとえば、フレッシュユマンクラスみたいな。

**司会** 私たち運営にたずさわる者としてもトレール教室の重要性は、本当に痛感させられました。お店のみなさんには、トレールはじめスタンダードのお客さまが、改造車に移行していくのが、ご商売に大きくつながる。それには、トレール教室のような基礎づくりの場が絶対に必要である、ということと、ぜひ今シーズンは、お店のみなさんとも協力して定期的なトレール教室の開講をやっしていきたいですね。



竹内 それと、底辺を上げるということでは、見に来る人、つまり観客が大きなポイントとなってくると思います。

人のレースを見てみると、だれでも一度は走ってみようという気になると思うんですけど、観衆というのは、非常に大切な見込み客であるといえると思います。

渡辺 セニアライダーが来てくれると、その点は非常にいいですね。観客の動員とか、PRの面でも……。

古田 PRといえば、私たち販売店もそうですが、メーカーも一体となつて、PR活動をもっと積極的に行ないたいですね、今年はいろいろありましたけど、私は今シーズンはDMなどで、より一層積極的にやつて行きたいと思つています。

沢口 たしかに、販売店の立場からいえば参加者は、もちろん大切なお客さま、それに観客は、これからという見込み客、まあ販売につながるなければいけない人ですよ。そういう意味からも、観客を集めるということはレース自体のより上がりとともに、とても重要なことですね。これには、PRももちろんですが、会場の設備なども、もうひとつという感もありますね。

伊藤 YGSFのときには、店のスポーツクラブの中から、レースに出場する人はレースに、ツーリングクラブの人は、ツーリングで観戦に行きました。トレール杯でも、こういうスタイルが生まれたらいいですね。沢口 そうですネ。それとお店から有望なスター選手が育ってくれるのはうれし。バ

ックアップするほうとしての楽しさもあるけど、彼らの仲間たちも「あいつが、あれだけやれるのならオレだって……」という人が多ぜい出てきますよ。



左から沢口、伊藤、古田、竹内、渡辺のみなさん。

### ＊ずつと続けようTCMS!

司会 いろいろと貴重なご意見が出てきましたけど、今シーズンの中部プロックは、まず県別のシリーズ戦、そして代表選手をYGSFへ送り、それ以降は今日のプロック大会まで、また県別シリーズに戻つてということでしたが、最後にまとめの意味で、'73シーズンへの期待や希望などをうかがいます。

竹内 シリーズ戦という形式は、最高だったと思います。一シーズンにわたる、お客さまとのつき合いですから、店とお客さまの連帯感、ものすごく深まりますね。

古田 私の店は愛知でも田舎の方ですけど田舎ほどスポーツ車のお客さまが多い道が悪いのに……。ぜひ'73シーズンは、こうしたお客さまにモトクロスの楽しさを知ってもらつてトレール杯へ……と考えています。

伊藤 たしかに、トレール杯ばかりかまはモトクロスレースの数もすく増えていましてね。だけど基本からきちんと行くならばやっぱりトレール教室を終え、トレール杯に参加し、そしてさらに他の全日本などのモトクロスへ出場するというのが理想でしょ。まずはMXでトレール教室からトレール杯へ出よう——ですよ。

渡辺 一年目でも、こんなに盛り上がったトレール杯ですから、ぜひ永い目でつづけて行きたいですね。

いま、ここにいる方は、みんなそうですけど、自分でもレースが好きで出場し、かつているお客さまをリードしているわけですが、お客さまに引っぱられるようになりたいですね。

沢口 絶対にずつとつづけてください。それと、最後に提案としては、誰れでも出場できる市販車クラスのレースを、改造車なみに排気量別にもっと細分化すると、この企画ももっと生きてくるのではないかと思います。

司会 今日は、レースが終つたばかりのところを、どうもありがとうございます。みなさんの貴重なご意見を参考に、'73シーズンも、ともに大いにガンバリましょう。

# 72トレール杯モトクロス選手権シリーズ ランキング



## 東北ブロック

▲東北一のモトクロスとなったTCMS  
東北選手権大会

4月から9戦にわたったトレール杯東北シリーズは、じつにのべ2千人をうまわせる参加者を得て大成功をおさめた。

なかでも、11月5日、仙台テクニカルハイランドで行なわれた東北選手権大会は、参

加5百余台、観衆5千人と文字通り東北一のモトクロスとなり、併催のヤマハ新車展示も大成功。この日の模様は、仙台放送テレビを通じ一時間にわたってお茶の間に届けられたほどであった。

◆最優秀選手賞-和田勲(青森アサヒスポーツ)  
◆最優秀クラブ賞-青森アサヒスポーツ

ヤマハが、またまたモトクロスの世界を大きく変えた'72トレール杯争奪モトクロス選手権シリーズ。

全国8ブロックのシリーズ戦は、8月のヤマハグラントスポーツフェスティバルで盛り上がりも絶頂に、そして10月から12月にかけての各ブロックチャンピオン決定戦で、はなやかに、'72年シリーズをしめくくり、全国に若いチャンピオンを誕生させました。

ここに、各ブロックの72年シリーズランキングをとりまとめてご紹介しましょう。

お店のお客さまのご活躍はいかがでしたか。

## 北海道ブロック

道内各地をめぐる全6戦にわたって行なわれた北海道でブロック大会の最終戦・北海道ブロックチャンピオン大会は全国のトップを切って10月8日に行なわれた。

会場の札幌テイネオリンピックに集まった、全道のTCMS仲間たちは、1年の総決算にふさわしい白熱したレースを展開した。

### ●ミニトレール

ノービス50cc		
1 梅崎 正弘	秋田	
2 船山 仁一	宮城	
3 大友 賢二	"	
4 天間 広美	青森	
5 五十風俊博	山形	
6 大友 賢一	宮城	

### ●市販車

ノービス100cc以下		
1 佐藤 衛	青森	
2 津川 恭英	"	
3 鈴木 学	福島	
4 後藤 順平	秋田	
4 渡辺 健一	福島	
4 槻田 修一	宮城	

ノービス101cc以上		
1 佐藤 孝文	青森	
2 高橋 清彦	岩手	
3 一戸 文博	青森	
4 須藤 孝一	福島	
4 福地 栄幸	宮城	
4 清水 秀尚	"	

### ●市販車

ノービス50cc		
1 照井 清	岩手	
2 相馬 勇	青森	
3 高橋 悦二	宮城	
4 佐藤 肇	"	
5 渡辺 光好	福島	
6 八木三千貴	宮城	

### ●改造車

ノービス90cc		
1 浅野 民夫	宮城	
2 高橋 一夫	"	
3 早坂 尚芳	"	
4 成田 操	青森	
4 星野 正博	宮城	
6 佐藤 裕自	"	

ジュニア90cc		
1 桜田 守克	岩手	
2 袖 定光	青森	
3 和田 勲	"	
4 横江 幸二	宮城	
5 加藤 隆春	"	
6 田村千代藤	青森	

ノービス125cc		
1 高橋 一夫	宮城	
2 星野 正博	"	
3 植村 光夫	青森	
4 田山多喜夫	岩手	
4 後藤 芳政	"	
6 戸塚 宏	"	

ジュニア125cc		
1 葛巻 恒夫	岩手	
2 和田 勲	青森	
3 加藤 隆春	宮城	
4 横江 幸二	"	
5 外崎 好信	青森	
6 菊地 司	宮城	

エキスパートジュニア125cc		
1 天馬 広美	青森	
2 大友 賢二	宮城	
3 北条 広美	秋田	
4 吉津 浩三	岩手	
5 戸塚 恵悦	"	
6 堀 勇	山形	

ノービス250cc		
1 高橋 一夫	宮城	
2 戸塚 寿	岩手	
3 北村 武志	秋田	
4 佐々木健司	宮城	
4 対島 行雄	青森	
6 相沢 充教	"	

ジュニア250cc		
1 和田 勲	青森	
2 葛巻 恒夫	岩手	
3 外崎 好信	青森	
4 瀬川 武美	岩手	
5 加藤 栄重	山形	
5 加藤 隆春	宮城	

エキスパートジュニア250cc		
1 北条 広美	秋田	
2 戸塚 恵悦	岩手	
3 大川 誠	青森	
4 白田 博	山形	
5 荒川 正弘	福島	
6 天間 広美	青森	

ノービスオープン		
1 佐藤 肇	宮城	
2 高橋 一夫	"	
3 植村 光夫	青森	
4 星野 正博	宮城	
5 大久保和夫	山形	
6 後藤 芳政	岩手	

ジュニアオープン		
1 加藤 栄重	山形	
2 瀬川 武美	岩手	
3 桜田 守克	青	
4 外崎 好信	青森	
5 横江 幸二	宮城	
6 和田 勲	青森	

エキスパートジュニアオープン		
1 天間 広美	青森	
2 北条 広美	秋田	
3 堀 勇	山形	
4 白田 博	"	
5 戸塚 恵悦	岩手	
5 吉津 浩三	"	

### ●ミニトレール

ノービス50cc		
1 金見 勉	函館	
2 藤戸 敏彦	"	
3 藤森 祥弘	"	
4 平井 則昭	"	
5 高橋 清	"	
6 中捨 秀昭	"	

### ●市販車

100cc以下		
1 安田 力雄		
2 若本 良司		
3 藤森 祥弘		
4 佐野 州男		
5 野口みのる		
6 溝口 守		

101cc以上		
1 高橋 清		
2 荒 雅幸		
3 今野 孝		
4 和久 孝		
5 伊藤 隆博		
6 加賀 雅幸		

### ●改造車

ノービス50cc		
1 中川 弘道		
2 中川 栄司	釧路	
3 浦上 征治	"	
4 木下 港平	"	
5 大橋 吉勝	"	
6 滝川 忠司	"	

ノービス90cc		
1 仲野 英紀	北見	
2 沼田 信広	美幌	
3 島中 謙一	"	
4 吉野 伸也	札幌	
5 伊藤 敏広	北見	
6 守山 晴志	"	

ジュニア90cc		
1 上野 英光	北見	
2 矢野 俊昭	"	
3 亀井 慶一	"	
4 馬淵 弘幸	"	
5 坂本 徳二	"	
6 嵯峨 正洋	札幌	

ノービス125cc		
1 伊藤 敏広	北見	
2 平木 浩一	"	
3 中村 広己	"	
4 五十風聖治	函館	
5 原子 三雄	"	
6 吉野 伸也	札幌	

ジュニア125cc		
1 亀井 慶一		
2 矢野 俊昭		
3 上野 英光	北見	
4 斉藤 博美	札幌	
5 志野原正剛	"	
6 竹内 幸男	釧路	

エキスパートジュニア125cc		
1 樋田 進	札幌	
2 佐藤 秀行	"	
3 日下 哲也	函館	

ノービス250cc		
1 武山 勝徳	釧路	
2 五十風聖治	函館	
3 渡辺 誠	"	
4 原子 三雄	札幌	
5 森 義幸	下川	
6 鈴木 彰	"	

ジュニア250cc		
1 成川 泰	札幌	
2 坂本 徳二	"	
3 志野原正剛	"	
4 北島斗寿穂	"	
5 上野 英光	北見	
6 神戸 駒征	釧路	

エキスパートジュニア250cc		
1 樋田 進	札幌	
2 日下 哲也	"	
3 佐藤 秀行	函館	

ノービスオープン		
1 武山 勝徳	釧路	
2 森 義幸	下川	
3 原子 三雄	札幌	
4 五十風聖治	函館	
5 渡辺 誠	"	
6 佐藤 憲司	"	

ジュニアオープン		
1 坂本 徳二		
2 志野原正剛		
3 神戸 駒征	釧路	
4 笠井 康男	"	
5 竹内 幸男	"	
6 成川 泰	札幌	

エキスパートジュニアオープン		
1 樋田 進	札幌	
2 日下 哲也	"	
3 佐藤 秀行	函館	

## 中部ブロック

ドレーン杯の呼び物ミニレース。だれでも参加できるTCMSは、全国のモトクロス仲間をまたまた飛躍的に増やした。中部ブロック大会。



絶好のレース日和にめぐまれた11月19日、岐阜県各務原市青少年グランドで中部ブロック大会が開催された。

この日は、中部ブロックの中で静岡、愛知、岐阜、三重、北陸の5ブロックに細分され

て行なわれたシリーズ戦の代表約200名が、各ブロックごとに色分けされたユニフォームで、熱戦を展開した。

### ◆最高殊勲選手賞

ミニクラスー浦上正房(静岡)  
市販車クラスー平村成二(愛知)  
ノービスクラスー山内啓司(愛知)  
ジュニアクラスー伊藤 隆(静岡)

### ●市販車

ノービス100cc以下	ノービス101cc以上	ノービス60cc
1 榊手 稔 岐阜 2 川辺 優明 三重 3 布沢 孝 愛知 4 小川 陽一 三重 5 山下 正幸 静岡 6 山口 公昭 愛知	1 平村 成二 愛知 2 若松 鉄夫 " 3 伊藤 等 岐阜 4 宇佐美 保 静岡 5 村田 実 " 6 大沢 達夫 "	1 坂井 邦宏 三重 2 浦上 正房 静岡 3 柴田 徹治 愛知

### ●改造車

ノービス50cc	ノービス90cc	ジュニア90cc
1 鈴木 英一 静岡 2 矢田 正博 三重 3 青山 欣也 静岡	1 山内 啓司 愛知 2 今尾 正博 岐阜 3 矢田 正博 三重 4 鈴木 幸男 愛知 5 佐藤 和男 " 6 内田 明雄 静岡	1 長谷川一三 三重 2 村松 光治 静岡 3 小林 寛二 "

ノービス125cc	ジュニア125cc	ノービス250cc
1 原田 正則 三重 2 清水 三郎 愛知 3 北島 雪雄 北陸 4 奥野 勲 " 5 達 信行 " 6 斉田 利信 "	1 伊藤 隆 静岡 2 黒田 和重 愛知 3 小林 寛二 静岡 4 木村 光一 " 5 赤池 康 " 6 若林 孝明 "	1 谷口 善典 岐阜 2 井上 久男 愛知 3 伊藤 英樹 三重 4 神戸 厚夫 静岡 5 禁瀬 敏和 " 6 北島 雪雄 北陸

ジュニア250cc	ノービスオープン	ジュニアオープン
1 杉本 清 岐阜 2 木村 光一 静岡 3 伊藤 隆 " 4 黒田 和重 愛知 5 本倉 保男 北陸 6 若林 孝明 静岡	1 谷口 善典 岐阜 2 河上 利昭 三重 3 福田 敬治 岐阜 4 原田 正則 三重 5 北島 雪雄 北陸 6 大林 正男 静岡	1 黒田 和重 愛知 2 伊藤 隆 静岡 3 小林 寛二 " 4 若林 孝明 " 5 伊藤 和夫 " 6 赤池 康 "

## 関東ブロック

関東甲信越をA~Dの4ブロックに細分して行なわれてきた関東ブロックは、10月15日長野県小諸市郊外的高峰高原スキー場に、各ブロックの代表200名を集めて関東ブロック大会を開催した。

天候にも恵まれ、最高のコースコンディションのもと、参加選手は全15クラスに熱戦をくりひろげた。

◆最高得点選手ー斉藤克己(千葉県)



晴れのブロック大会の表彰台で、一年間の活躍がみごとに結実して、最高の微笑が...関東ブロック。

### ●ミニトレール

ノービス50cc
1 青木 隆一 2 寺嶋 武 3 後上 竜次 4 宮島 敬充 5 岩崎 忠男 6 鈴木 厚

### ●改造車

ノービス100cc以下	ノービス101cc以上	ノービス50cc
1 川出 武 2 北村 隆資 3 高橋 国男 4 佐藤 隆 5 菅原 雅之 6 鶴岡 保 6 渋谷 和男	1 田中 義行 2 中山 茂 3 高田 寛 4 小野 義明 5 遠藤 弘雄 6 伊藤 重衛	1 山口 紀夫 2 黒岩徳三郎 3 中沢 茂夫 4 粕谷 紀夫 5 諸橋 正悟 6 丸山 香治

ノービス90cc	ジュニア90cc	ノービス125cc
1 斉藤 克己 2 中島 富明 3 田中 幸二 4 山本 計 5 岩片 正和 6 関沢 範夫	1 静谷 信夫 2 平山 仁文 3 伊藤一比右 4 大塚 重雄 5 鳥羽 吉治 6 須田 信行	1 斉藤 克己 2 百瀬 浩文 3 原田 実 3 坂井富士男 4 中谷 良人 5 吉田 優 6 星野 吉永

ジュニア125cc	エキスパートジュニア125cc	ノービス250cc
1 大塚 重雄 2 平山 仁文 3 静谷 信夫 4 熊谷 義貞 5 清水 政広 6 島崎 正巳	1 吉田 哲郎 2 広川 四郎 3 岩崎 正男 4 山内 守 5 本間 誠治 6 牧口 規雄	1 設楽 健 2 中野 直人 3 平井 巖 4 中沢 清 5 根本 強 6 宮沢 正雄

ジュニア250cc	エキスパートジュニア250cc	ノービスオープン
1 熊井 清幸 2 木原 泰久 3 熊谷 義貞 4 山崎 力 4 田島 功一 5 原田 実 6 内野 敏夫	1 見尾田 孝 2 橋本 広一 3 渡辺 政由 4 古田 哲郎 5 上野 克 6 奥田 博	1 宮沢 正雄 2 中野 直人 3 根本 強 4 中沢 清 5 小林 勝 6 若杉 莊平

ジュニアオープン	エキスパートジュニアオープン
1 熊谷 義貞 2 熊井 清幸 3 静谷 信行 4 大塚 重雄 5 島崎 正巳 5 木原 泰久 6 田島 巧一	6 須田 信行 6 上野 昇 6 人見 清一 6 吉原 明正 6 平山 仁文 6 丸山 和照 6 山崎 力





# '72トレール杯モトクロス選手権シリーズ ランキング

## 中国ブロック

中国ブロックチャンピオン決定戦は、11月26日、トレールランド広島に岡山、広島、鳥取、島根、山口からの選手

を集め、市販車100cc以下クラスから計14クラスにわたる熱戦をくりひろげた。



### ●市販車

ノービス100cc以下	ノービス101cc以上
1 梶田 哲彦	1 御手洗 忠
2 横山 俊明	2 久保 敏彦
3 山本ヒロシ	3 平井 敏夫
4 工藤 近安	4 深田 秀治
5 鍋島 五峰	
6 藤原タケシ	

### ●ミニレース

ノービス50cc
1 久保田健三
2 久保恵太郎
3 前迫 尚
4 山本ヒロシ
5 能海 文雄
6 細沢 克美

### ●改造車

ノービス90cc	ジュニア90cc
1 青山 清	1 味岡 英明
2 藤村 広昭	2 岸 宣之
3 中本 辰男	3 豊島 弘明
4 小林 信昭	4 細田 巧
5 立脇三樹夫	5 金本 芳夫
6 岩木 富雄	6 歳実 里美

ノービス125cc
1 立脇三樹夫
2 小林 信昭
3 青木 一雄
4 丸山 周治
5 山本 義明
6 深田 博

ジュニア125cc
1 豊島 広明
2 味岡 英明
3 堂野 憲三
4 二岡 義雄
5 守分 浩二
6 高田 真司

エキスパートジュニア125cc
1 二村 正信
2 下井 義治
3 河本 光作

ノービス250cc
1 有田 尚明
2 黒松 康弘
3 青山 清
4 立脇三樹夫
5 小林 信昭
6 野田 孝二

ジュニア250cc
1 岸 宣之
2 守分 浩二
3 金本 芳夫
4 岩根つもる

エキスパートジュニア250cc
1 二村 正信
2 河本 光作
3 下井 義治
4 山根 俊正

ノービスオープン
1 山本 義明
2 有田 尚明
3 小林 信昭
4 青山 清
5 青木 一雄
6 山根 正和

ジュニアオープン
1 豊島 広明
2 堂野 憲三
3 岸 宣之
4 二岡 義雄
5 岩根つもる
6 守分 浩二

エキスパートジュニアオープン
1 二村 正伸
2 河本 光作
3 山根 俊正

## 関西ブロック



前日来の雪もなんのその寒風を突いてホットなレースがつづく関西ブロック大会

京滋、大阪奈良、和歌山、兵庫と分かれてシリーズ戦が行われてきた関西ブロック。12月3日、全国の最後を飾る関西ブロックチャンピオン決定戦が、滋賀県八日市のトレールランド八日市で開催された。

前日来の雪が残るコースに

もかかわらず、170名の者は、各クラスに好レースを展開。

'72全日本チャンピオンのセニア・鈴木都良夫選手の模範走行やサイン会なども同時に行なわれ、終日大いににぎわいを見せていた。

### ●市販車

ノービス100cc以下	ノービス101cc以上
1 平松 楠二	1 岸上 俊夫
2 金馬 幸三	2 平松 楠二
3 池原 宏	3 橋田 忠博
4 稲葉 恒夫	4 松村多美男
5 山田 和男	5 土橋 征男
6 岸上 俊夫	6 入江 義邦

### ●ミニレース

ノービス50cc
1 大久保基弘
2 大倉 正久
3 佐藤ひさし
4 前川信一郎
5 中島 新二
6 生田 広明

### ●改造車

ノービス90cc	ジュニア90cc
1 広尾 久	1 松任谷隆光
2 山川 昭夫	2 安見 和夫
3 水谷 重夫	3 福田 義夫
4 井上 辰秀	4 花城 清友
5 今野 久男	5 太田みのる
6 木村 幸児	

ノービス125cc
1 森国 竜治
2 広尾 久
3 西尾 雅仁
4 渋谷 実
5 山川 昭夫
6 吉田 一夫

ジュニア125cc
1 松任谷隆光
2 花城 清友
3 太田みのる

ノービス250cc
1 西尾 雅仁
2 広尾 久
3 森国 竜治
4 笠原 輝男
5 福代 孝道
6 渋谷 実

ジュニア250cc
1 松任谷隆光
2 福田 義夫
3 花城 清友

ノービスオープン
1 西尾 雅仁
2 広尾 久
3 森国 竜治
4 吉田 一夫
5 笠原 輝男

ジュニアオープン
1 松任谷隆光
2 福田 義夫
3 太田みのる

エキスパートジュニアオープン
1 藤田 勝美



# '72トレール杯モトクロス選手権シリーズ ランキング

## 九州ブロック



↑みこと72九州ブロックの最優秀選手となつた左から沢辺、樋口、弥栄の三選手。

ノービス部門から多くのスターライダーを生み出した九州ブロックの最終戦は、11月19日、福岡県のトレールランド星野で盛大にくりひろげられた。

ミニトレール50ccクラスからEJ250ccまで、15クラスに大きな成果を納めた九州ブロックの最終戦らしい充実したレースの連続であった。

◆最優秀選手—ノービスクラス—沢辺和秀選手  
ジュニアクラス—弥栄義和選手  
Eジュニアクラス—樋口勇二選手

### ●ミニトレール

ノービス50cc		
1 高見 茂喜	佐賀	
2 上田 筆記	熊本	
3 井上 知年	福岡	
4 加藤 文凡	熊本	
5 赤木健治郎	"	

ノービス60cc		
1 藤本 正一	佐賀	
2 吉田 伴満	大分	
3 森浜 行輝	長崎	
4 荒川 金雄	長崎	
5 宇都宮 国人	福岡	
6 泉 俊幸	大分	

### ●市販車

ノービス100cc以下		
1 福永 信夫	大分	
2 生野 善弘	福岡	
3 三浦 直近	"	
4 岩本 龍助	熊本	
5 甘水 周一	福岡	

### ●改造車

ノービス101cc以上		
1 渡辺 隆夫	福岡	
2 高木 賢治	"	
3 元田 茂	長崎	
4 時里 武夫	福岡	
5 山口 申吾	長崎	

ノービス50cc		
1 原田 貞祐	福岡	
2 舛永 龍二	熊本	
3 林 正三	福岡	
4 佐々木金次	福岡	
5 佐々木邦夫	"	
6 笹原 素	大分	

ノービス90cc		
1 沢辺 和秀	熊本	
2 山元 富生	鹿児島	
3 木村 太	熊本	
4 榊 幸一郎	大分	
5 藤 正徳	福岡	
6 手島 寅男	"	

ジュニア90cc		
1 吉田 勇	鹿児島	
2 中村 和夫	"	
3 今村 久雄	宮崎	
4 有村 幸夫	鹿児島	
5 小川 直己	大分	

ノービス125cc		
1 藤本 正一	佐賀	
2 沢辺 和彦	熊本	
3 菊永 耕作	鹿児島	
4 松原 薫	佐賀	
5 手島 寅男	福岡	
6 木村 太	熊本	

ジュニア125cc		
1 島崎 鉄也	熊本	
2 吉田 勇	鹿児島	
3 弥栄 義和	"	
4 上野 謙一	熊本	
4 今村 久雄	宮崎	

エキスパートジュニア125cc		
1 木下 信安	熊本	
2 前川 和範	福岡	
3 樋口 勇二	"	
4 野添 紳治	鹿児島	

ノービス250cc		
1 末永 初弘	福岡	
2 菊永 耕作	鹿児島	
3 沢辺 和彦	熊本	
4 木村 太	"	
5 坂本 穂積	佐賀	
6 猪股 達	長崎	

ジュニア250cc		
1 弥栄 義和	鹿児島	
2 小川 直己	大分	
3 吉岡 善人	福岡	
4 島崎 鉄也	熊本	
4 池田 勝則	福岡	

エキスパートジュニア250cc		
1 木下 信安	熊本	
2 樋口 勇二	福岡	
3 前川 和範	"	
4 野添 紳治	鹿児島	
5 飯塚多喜男	熊本	

ノービスオープン		
1 菊永 耕作	鹿児島	
2 深谷 弘美	佐賀	
3 猪股 達	長崎	
4 坂本 穂積	佐賀	
5 藤本 正一	"	
6 入江 克郎	熊本	

ジュニアオープン		
1 弥栄 義和	鹿児島	
2 小川 直己	大分	
3 佐藤 達夫	宮崎	
4 吉田 勇	鹿児島	
5 中村 和夫	"	
6 島崎 鉄也	熊本	

## 四国ブロック



1年のしめくりに熱戦また熱戦の連続の四国ブロック大会。

トレール杯モトクロス選手権シリーズ四国最終戦は、11月19日、愛媛県今治市桜井のトレールランド今治で開催された。

なかに海を望むコースも最高、1周1.5キロのコースに、120名の参加者が最終戦にふさわしい好レースをくりひろげられた。

天候も最高なら、はるかか

### ◆最優秀選手賞

ノービスクラス—永井豊和選手  
ジュニアクラス—矢野元芳和選手  
E・ジュニアクラス—中村敏信選手

### ◆西日本放送賞

永井豊和選手

### ●ミニトレール

ノービス50cc		
1 武田 俊作		
2 前田 敬郎		
3 藤村 孝		
4 黒島 章		
5 田村 賢一		
6 安永 信夫		

### ●改造車

ノービス90cc		
1 永井 豊和		
2 岩佐 敬介		
3 織田 弘光		
4 武田 泰尋		
5 大沢 保正		
6 佐藤 叔洋		

ジュニア90cc		
1 宮脇 秀夫		
2 大岡 修一		
3 今滝 一		
4 兼近 敦		
5 入交 守道		
6 以西正春・矢野本芳和		

ノービス125cc		
1 永井 豊和		
2 三宅 晃弘		
3 小林 茂		
4 花山 正和		
5 岩佐 敬介		
6 佐々木正隆・比原正三		

ジュニア125cc		
1 矢野本芳和		
2 加藤 秀夫		
3 以西 正春		
4 松本 泰二		
5 福井 一明		
6 大岡 修一		

エキスパートジュニア125cc		
1 辻 泰利		
2 中村 敏信		
3 木下 豊造		
4 小林 信芳		
5 静 保		
6 池田 昇		

ノービス250cc		
1 永井 豊和		
2 織田 弘光		
3 越智 和則		
4 門脇 健夫		
5 渡部 耕三		
6 片岡 陽一		

ジュニア250cc		
1 以西 正春		
2 矢野本芳和		
3 入交 守道		
4 阿部澄美男		
5 松本 泰二		
6 加藤 秀男		

エキスパートジュニア250cc		
1 中村 敏信		
2 辻 泰利		
3 森本 邦士		
4 小林 信芳		
5 池田 昇		
6 木下 豊造		

ノービスオープン		
1 渡部 耕三		
2 大塚 義一		
3 越智 和則		
4 遠近 由和		
5 織田 弘光		
6 永井 豊和		

こんにちは

ヤマハ

です

YAMAHA

志野原商会 T22-4824



# まず実行の “やる気”を もとう

北海道旭川市 志野原商会

「私、北海道旭川市神楽町十四区のヤマハフレンド店・志野原商会の志野原勉です。

商売をはじめたのは昭和三十八年八月十五日。軍隊経験二年半の私にとっては、決して忘れることの出来ない日にちです。以来、九年。永いといえれば永いし、夢中で過ぎたといえは短かくも感じられます。

開店当時、幼稚園であった末娘も、いまは立派な中学生、長男はよき伴侶を得て、昨年の元旦に初孫も誕生、市内に支店を開設して二年目に入りました。

次男はメカニックとして働くかたわら、モトクロス・ライダーとしてSL活動の発展に従事しており、本店、支店とも、一応、目標を満足させる成績をあげております。

いうまでもなく北海道は、冬が長く、商売の期間は本当に限られたものとなってしまいましたが、ヤマハの打ちだす政策と、店独自のアイデアを生かして、頑張ってるわけです」



メカニック兼 SL リーダーとして活躍する次男の正剛さん。ほかに開店いろいろのサービスマンとして山谷さんがいる（作業場で）。



広々としたショールーム。お客さま本位にゆったりとした気分でみられる設計だ。

## 真冬の北海道で

### 大成功の運動会

「私、商売のかたわら、町内会の青少年部長もつとめており、なにかと町内の子供たちと交流も多くなっています。

昨年の正月、一月十四日には旭川市はじめて以来初めてという雪上運動会をやってみました。当日は、朝六時の気温がマイナス十九・九度（NHK発表）という寒さ。しかし会場として借りた旭川南高校の屋外運動場には、九時開催を前におよそ三十名の子供たちと二十二名の父兄があつまっており、ギシギシと雪を鳴らして、開会遅しと待っていてくれたのでした。

北海道ヤマハ旭川支店の協力によって、さつそくスノーモビルで雪固めにかかりました。寒さがきびしく、雪がサラついて思うように運びません。それでもなんとか形をつけて、市長の祝辞、私の挨拶、子供会々長の誓宣と、無事に開会式をすませ、ひきつづきパン喰い、ミカン拾い、棒倒し、親子札合せ、グループ対抗リレーと、寒さを忘れさせる楽しい時間を過ごしたのです。

町内会の会長の協力、とくに婦人部長からはニギリメシとブタ汁の接待もあり、町内会の交流を高めたことでも会は大成功でした。

先にも述べましたように、真冬にこのような行事を開いたのは初めてのことであり、その反響は大きく、旭川市の広報課をはじめ地元の北海道新聞や北海タイムスの記者方

も取材に見え、翌十五日の新聞には写真入りで紹介され、いちやく評判となりました。

この催し物の成功は、「いかに寒くとも、やる気」さえあれば、出来るのだ」ということを私につよく印象づけました」

### 早々と新車発表展示会

#### 猛吹雪の中で初の契約

「北海道はどういうものか、メイトタイプの伸びがよくありません。東北などを歩いてみますと、若い娘さんからかなり年配のご婦人まで、農事に買物に、自転車がわりにメイトを乗りまわしています。それで、もう一つ伸びやんでいるメイトをなんとかしようと考えていたのですが、一月上京の折にひよと目についたのが出前機とメイトです。

まさか、とお思になる方もいるでしょうが、おそば屋さんやお寿司やさんで使われている配達用のあの出前機なるものは、旭川では見たこともない機械だったので。

そこですぐにメーカーに足を運び、メイト用と自転車用の二台を発注、二月初旬に入手したのです。

先の寒中運動会の成功もあり、また他店より早くということ、二月二十日から十日間の期日で「72オールヤマハ新車発表展示会」を開催しました。屋外にはポート、店内にはスノーモビル、オートバイを飾り、千二百通のダイレクトメールを送って、お客さんの勧誘を図りました。

初日はあいにく猛吹雪という悪天候で、来



メイトは協販の尖兵。メイトは銀行に大量納入したメイトの定期点検に出かけた。



春未だの2月にはやくも大々的な展示会を開いて話題をあつめた。(吹雪の初日)



新聞にものつた真冬の運動会。こうした結びつきが有形無形にお店を大きくしていく。要は即実行のやる気だ。



旭川市主催の盆おどり大会で、参加32団体のうち13位に入賞。大いにPR効果をあげた。



冬の間はスノーモビルと免許教室の開催につとめる。

客はわずか六名。それでもそば屋さんがり見え、そのうちのひとりのお客さんが出前機をつけたメイトを契約してくれました。合わせて一金八万四千円の契約です。

このお客さまは自転車で配達しており、したがって免許はもっていないとのこと。さっそく免許教室の開催を知らせ、春のシーズン開幕にそなえたものでした。

—— ありがとうヤマハ ——  
—— 一年を通しての商売 ——

「私の店では昨シーズンより、スノーモビルの販売も手がけることにしました。

旭川、というより北海道ではもう二輪車の販売は今年の春までおあづけですが、スノーモビルを取扱うことによって、年間を通して

仕事が出来ようになり感謝しております。これからは、スノーモビルをいかに普及するか、それが冬の商売を大きく発展させる重要な課題といえるでしょう。

また旭川は、海も湖もないところですが、釣り人口はご多分にもれず意外と多いのに驚かされます。これからは、私も釣りの仲間に入ってボート、船外機の需要について検討していかなばならぬと考えております。

人間回復とか、バイコロジなどの時流にのって、自転車も大いに期待される商品として脚光を浴びていますが、これもものんびりとしていたら、デパートやスーパーにやられてしまいます。

私のところでは、まだ免許年令に達していない年少者を対象に、お早ようサイクリング会なども実施していますが、とにかくお客さまの組織づくりはこれからの販売経営にとって誠に重要な仕事であると考えております。

いっぽうではモータースポーツも順調にのびており、今年はTCMSを重点に、若い人たちと大いにモトクロスを楽しみました。

あれも、これも、やりたいことは山ほどありますが、とにかくにも「やる気」がなければ何事も成就しません。

これからも、何が大切であるか、それをはつきりと見きわめ、人と人とのつながりを基礎に、時流にマッチした販売対策で、ますます努力を重ねてまいる所存です。

どうぞ、よろしくお願い致します。

# HELLOW YAMAHA 2&4

## ハローヤマハツーアンドフォー



昨春からスタートした、ヤマハ提供のまったくユニークなラジオ番組「ハロー・ヤマハ2&4」は、ラジオエイジといわれる若者たち、オートバイ好きのヤングたちの間で、大人気。

なかでも、まだ免許年令には間があるというミドルティーンの間での人気が、ひととき高く、オートバイに寄せる夢、ヤマハにかけられる期待の声、放送局には毎日ゴッソと送られています。

そうしたヤマハファンの期待に応えて、昨年一年精力的に動き回ったホスト役の泉優二さんと平

### 泉優二(ハローヤマハ2&4ホスト)

フレンド店のみなさま、新年おめでとうございます。

ハローヤマハ2&4のホスト役として、昨年は、YGSFをはじめ、各地のトレール杯モトクロス選手権シリーズ、全日本選手権モトクロスやロードレースグランプリ、さらにトライアルなどのモータースポーツを見たり各地のクラブやフレンド店のみなさまのところへおじゃましたりしてきました。

そこで、一番強く感じたことは、なんといっても、オートバイ仲間の連帯感の強さと、ヤマハに寄せられる若者たちの大きな期待です。

取材を通じて、全国のヤマハフレンドたちとコミュニケーションできたことは、じつにすばらしいことでした。

そこで、今年はずいぶん、もっともっと多くの若い仲間たちに、この番組に参加してもらいたい、クラブやお店への訪問をもっとずつと多くしたいと思っています。

プライベートでは、ロードレースやモトクロス、それにトライアルなどにぜひ一度参りしてみたい……というところですが、



仲間から寄せられるスバラシイ投書の数かず

# ことしもよろしく!



文チャンのフレッシュコンビは、「ことしも、全国のオートバイファン、ヤマハファンにすばらしい番組を」と大ハッスル中。お店のみなさま、ことしもどうぞよろしくおねがいます——。

ヤングたちのナマの声は、きっとお店のご商売に、新しい糸口を見出すキッカケとなるかも知れませんし、お客さまとの話題にも格好のもの。どうぞよろしくご愛顧のほどを——

### またまた頑張りま〜す

平野 文(ハローヤマハ2&4ホステス)

昨年のお仕事で一番楽しかったのは、やっぱりYGSFでした。

私は学校(高校二年生)もあり、泉サンのように取材にとびまわれなかったのが残念でありません。

ことしは、もっともっと多くのヤマハフレンドたちのナマの声を聞きたいと思っています。ぜひ、みなさんとスタジオで一緒にしゃべりたいものです。

全国のオートバイ仲間からいただく投書はすごく楽しみだし励みにもなります。私にとってもすばらしい番組「ハローヤマハ2&4」を、ことしはもっともっと楽しくしていきたいと思っています。フレンド店のみなさまもどうぞよろしく。

## ヤマハ提供ラジオ番組

### HELLOW YAMAHA 2&4

ハロー ヤマハ ツーアンドフォー



ハローヤマハ2&4は、TBS(東京放送)、CBC(中部日本放送)、MBS(毎日放送)の3局から放送しています。

放送日は、毎週月曜から金曜まで。時間はCBC 10時40分〜10時50分、TBS 9時50分〜10時、MBS 午後10時20分〜10時30分。

内容は、若者たちの生活の一部ともなっているオートバイを中心に、ヤングとともに考えともに喜び、ともに助けあおうというものです。

なお、各放送局のサービス・エリアは限られた範囲ですが、夜間の放送でもあり、ほとんど全国で聴取できます。どうぞ、よろしくご愛聴ください。

# ブラボー 鈴木君&DT-1!!

## 北半球73,291kmを走破!

### ノトラブル・タイヤ1本交換で帰ってきた YAMAHA DT-1



販売店の皆さまが、お客さまのどなたにもご自慢できるすばらしいニュース!

一九七一年、本誌五月号(No.95号)ですでに誌上紹介した鈴木尚次君(25才)が、さる10月26日、長い世界旅行を終えて、無事帰国しました。鈴木尚次君は、ヤマハDT-1による世界征覇をこころざして、一九七一年一月八日、博多港から一路西バキスタンへ向けて出発。カラチを起点として、中東アジアからヨーロッパ全土、さらにアメリカ大陸を単身横断してきた、勇敢な青年です。

しかも、一年10カ月間、73,291kmという長大距離をノン・トラブルで走破、タイヤは後輪一本をチェンジするのみという、文字通りの「快挙」をなしたのです。

この快挙は鈴木君のテクニクのみことさと注意深さもさることながら、ヤマハDT-1の耐久性とすぐれた性能を如実に実証したもののといえましょう。

新春にふさわしい、明るく頼もしいこのニュース、数かずの冒険にみちた鈴木君の体験を、写真を通して、たっぷり堪能してください。



## ★旅仕度、木箱プラス一〇〇〇ドル

広い世界をわれとわが身で歩いてみたい、そんな夢を小供の頃から抱きつづけてきた鈴木君は、大のオートバイファン。

16才を迎えて、待ちかねたように50ccを購入。いろいろオートバイを離れたことがない、という実に頼もしい(?! )青年です。

大学2年に在学中、世界旅行を夢みて、ま



元気いっぱい世界を駆ける鈴木君

ずはオートバイ日本一周を敢行。四〇〇回、一、〇〇〇kmを、何と二八、〇〇〇円也で走破！何よりもかによりも、かかった経費のド安さにド肝を抜かれてしまうのですが、このスバラシイ経験が、今度の世界旅行を支えてくれたようです。

さて世界旅行を目ざしてから左官のアルバイトに英語の勉強。ある日自宅近くの基地の外人宅をあてずつぼうにノックして、手振り身まねで、英語の特訓を頼んだそうです。いろいろロナルド・マッケー氏(35才)の友情による無料の講習を受けて英語はペラペラ。

こうして語学はOK、金もできた一年後、鈴木君はいよいよ、長の旅路に向かったのです。クルマはちようどその年のモーターショーでヤマハが発表した新作DT-1。世界旅行用にと探しあぐねて、遂にめぐりあえた理想のクルマでした。

所持金は一〇〇〇ドル。大きな木箱に冬物から夏までの衣類や自炊道具、テント一式、それに訪れる全国各地の地図や資料を押し込んで、あふれた荷物はザックに詰めて、イザ、出発！

所要年月、およそ四年を見込みました。のんびり行こう、気軽に行こうのCMは、当時まだありませんでしたが、トレールモデルの愛車DT-1ともなれば、急がず慌てず、ゆつくり安全に走破するのが念願です。

### ★一月の赤道直下、カラチをめざして

もともと、クルマを壊わさずじょうずに使うのが、鈴木君の趣味。「使い捨て」が合い言葉のようになって今日、鈴木君の趣味

は稀少価値ともいえましようか。

強引ともいえる語学の特訓、ガムシヤラな左官のアルバイト、こうした爆発的な行動力の裏側に、思慮深く慎重な態度が光っているのです。常に安全走行を目標として、メカの点検をおこたらず、一〇〇〜一二〇キロごとに必ずガスを補給しました。

こうした慎重さとメカへの配慮が、世界走破を安全に支えてくれたのはいうまでもありません。全国のオートバイファンに、ぜひ参考にしてもらいたい鈴木君の姿勢ですね。

さて、クルマだけ先に船積みをして、いよいよ一月八日博多港を出航。目ざすは西バキスタンのカラチです。ここから幾分戻り気味にインドを廻って、それからひたすらヨーロッパへと北上の予定です。

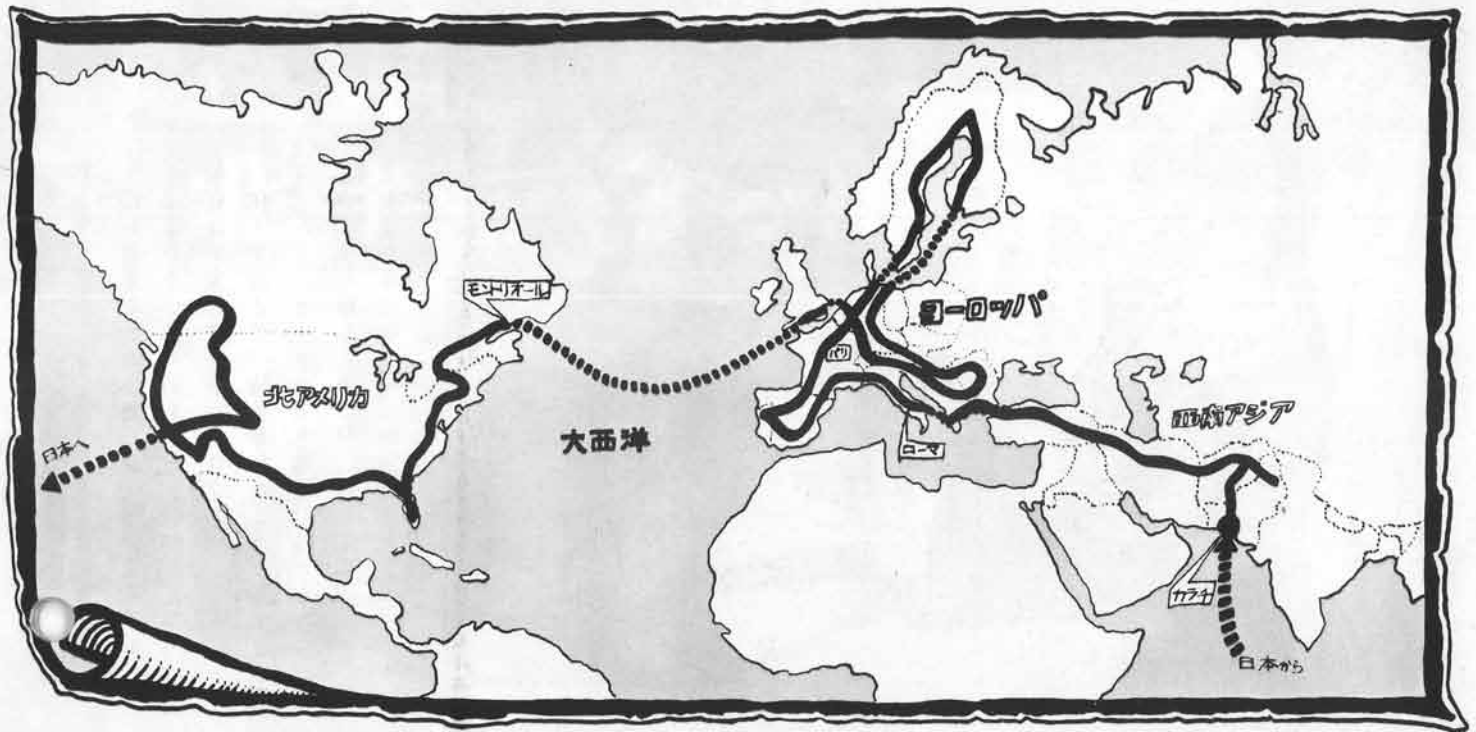
ヤマハ本社では、鈴木君の壮拳と、新製品DT-1長距離走破の行方を注目して、各地のディーラーに連絡。カラチに着いた鈴木君はちよつと度の過ぎた(?! )親切にとまどつたり感激したり。

ともあれ、赤道直下、日本中が冬將軍の攻撃をうけている真冬の最中、焼けつくような熱帯のカラチから、本格的なオートバイの旅が始まったのです。

### ★砂漠の熱帯から積雪の国境へ

「冒険はするが無茶はしない」——これが鈴木君のモットー。

暑い西バキスタンからインドへ、もう一度西バキスタンを経てアフガニスタンへと向かいました。バキスタンではアタが神聖でインドではウシが神様。それにしても宗教とは不



思議なものよ、などとびっくりしながらアフガニスタン国境へ向かう途上、獲物に群がるタカの一団に出遭い、巨大な羽が風防を直撃クルマが横転して脚をケガするなどの思わぬ事故がありました。

それでも無事赤道直下の国を抜けて、アフガニスタンへ。そしてトルコへ。このあたりでは雪がつもっていました。黒海へ向かう途中では50cmも積っていたとか！こんなときトレールモデルのDTE1が、真価を発揮してくれたのです。

トルコからギリシャへ。そして、紺碧のエーゲ海を渡ってイタリアへ。

総じて中東アジアの印象は、鈴木君にとつてあまり芳ばしくなかったということです。人びとは陰険で、乞食がやたらに目につくのが気になったとか。

アジア、中東アジアからいよいよヨーロッパに入ると、明るい自由の雰囲気、最初はすっかり感激した、と鈴木君は語ってくれました。

### ★自由の欧州老夫婦のオートバイ旅行も…

ヨーロッパは西の果てから最北端まで、行きつ戻りつ、道連れがでたり一人になったり。どこもかしこも整備されたアスファルトのハイウェイを、平均時速70kmで、ノロリノロリと走ったのです。イタリアのエストラダ・デル・ソレ（太陽の道）や、ドイツのアウトバーンを走るときは、さすがに気のあるときもあったとか。

何しろ、スピードを競うヨーロッパの若者たちが、ピンピンと側を過ぎてゆくのです。

しかし、ここはイチバン我慢をしました。いっしょに行こう、と誘われても、アイ・アム・ゴーイング・マイ・ウェイ。

しかし、ヨーロッパでは、オートバイ人口は子供から大人まで。レジャーに旅行にと、大らかに利用されているのに、うらやましさを感じたよし。たとえば、いい年をした老夫婦がオートバイ欧州一周旅行をしていたり、街の郊外にちよつと出ればモトクロス場があったり。

それにモーベットといわれるミニバイクがとても普及していたということです。

ヨーロッパの次はアメリカ大陸。カナダはモントリオールに出発以来9ヵ月目の九月十六日着。名にし負うカナダの夕焼けに絶句しながらアメリカへ。そしてアメリカで、英語の特訓を受けたロナルド・マッケイ氏と再会。

その後、ペンキ塗りや機械整備の助手などのアルバイトをしながら、アメリカに約一年滞在して昨年10月横浜に帰りついたので。

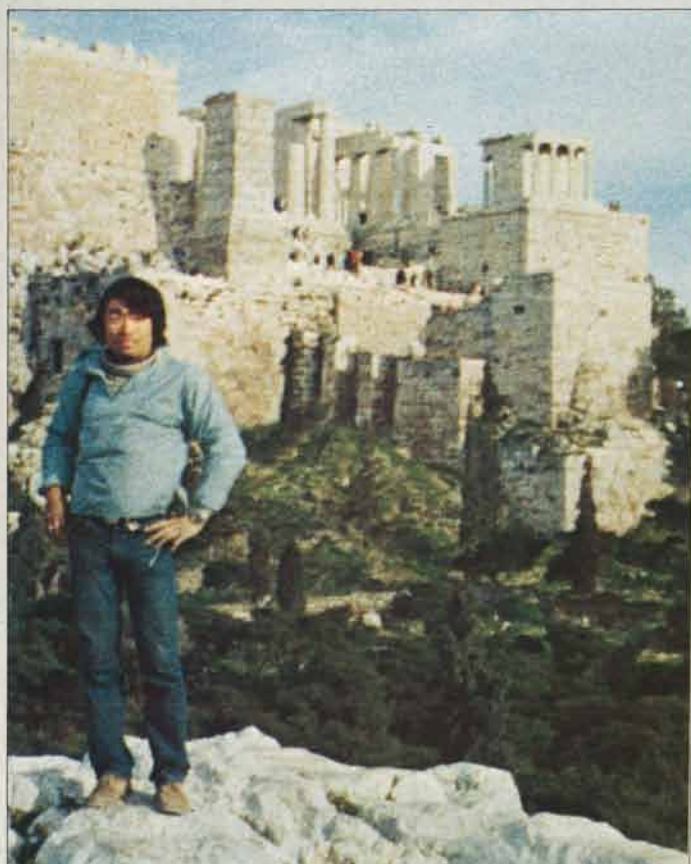
もちろん当初の目標は地球走破。南米もアフリカも走り廻る予定だったので、船積みや通関の面倒にウンザリして、とうとう北半球のみで引き上げました。それだけが心残り。しかし、ノントラブルで、無事帰着した心境は、澄み渡った青い空のよう。

もつとも、こんな行動力にみちあふれた鈴木君のこと。次回はひよつとしたら、アフリカ、南米等の南半球征覇をめざしているのかもしれないですね。



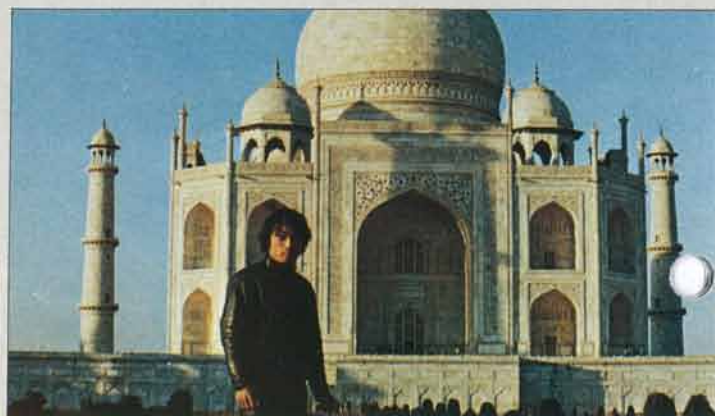
西パキスタン・カラチ

大陸征覇の出発点。ディーラーさんの大歓迎をうけながら、前途に夢を馳せる。



ギリシャ

旅行中もっとも印象の深かったギリシャの遺跡の数かず。晴天がつづいてエーゲ海が美しい。



インド・タージマハール

牛肉を絶対に食べられない国へきて、無神論者の鈴木君ボカン。



アフガニスタン・トルコ国境辺

赤道直下の暑さから急転して積雪の国境辺に。それにしても、DT-1が真価を発揮してくれたのだった。

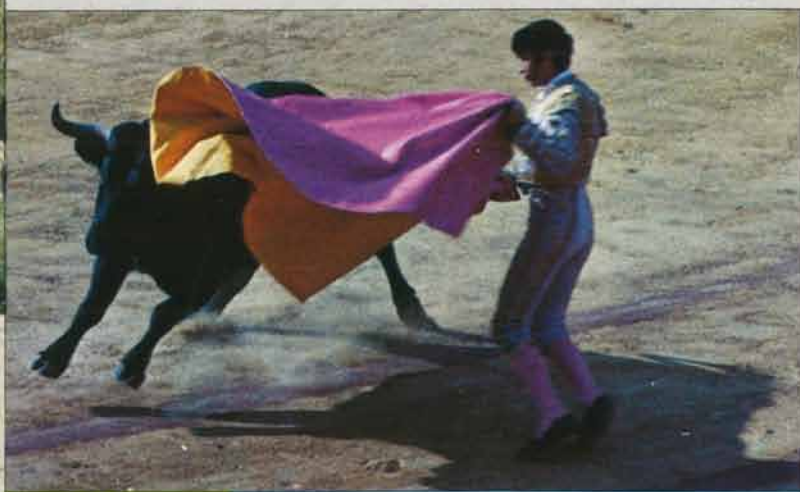


半年以上も旅をつづけていると、感激もうする。  
来年はとりこわされるエッフェル塔前で記念撮影。



イタリア・  
ピサの斜塔前

自転車欧州一周中というスゴイ日本青年と出遭った。  
彼のこと日本の新聞にも掲ったとか姉から聞いた。



スペイン・  
マドリード

4月のスペインでは、スターは海外巡業中とかでヘボ  
闘牛士ばかり。牛が死ななかつたり変な闘牛だったノ



前略、どうも御無沙汰いたしております。私のDT-1による世界一周も、最初の計画とだいぶ異なってしまいました。9月23日現在、オートバイの走行距離メーターは71,459.9km、4にカラチを出発したときが1,755.4km。…サクラメンテから、ソート・レイク・シティー、デンバー、グランド・キャニオン、ラスベガス、そしてロスへと約一万kmを走ったとき、少々ピストンが心配でしたが、なにも起こりませんでした。75kmでしたが見かけましたが、私のDT-1はノントラブル。平均時速前にも書きましたが、ピストン、シリンダーもノーチェンジだという、誰もかポイントも、後輪タイヤも同じものです。タイヤは1分山くらい残っております。のたびに無故障で、ピストンもシリンダーもノーチェンジだという、誰もか「信じられない」といって驚いています。DT-1にとっても感謝しております。あとは、オートバイをチェックして、10月12日、ロスにて乗船、10月26日横浜、横浜より家までDT-1を運転して帰るのを楽しみにしている今日このころです。

ヤマハ発動機海外技術課  
江間様  
'72.9.23

鈴木 尚次



フランス・パリ



イギリス・ロンドン

英語の勉強と称して2カ月滞在。この間\$1000を送金してもらったが、ドルショックで\$200くらい損をってしまった。



オーストリー・  
インスブルグの辺

美しいチロルの山なみ。オーストリーは静かでのどかだった。



ブルガリア

顔も言葉もわからないベリー氏宅に3日世話になる。



カナダ・  
モントリオール

'72年9月ヨーロッパを後にしてカナダに向かう。同月16日着。有名な夕陽にしばしみとれる。



アメリカ・  
フロリダ

10月のデイトナ・ビーチは避寒客のおばさんばかり。この後のロスでは、美人にたくさんお目にかかって、仇をとった。

●こんにちは

## ニーハオ 中国青年卓球代表団 ようこそヤマハへ



▲ ようこそヤマハへ！社員の拍手に迎えられてヤマハの門をくぐる中国青年卓球代表団のみなさん

去る十一月二十一日、おりから来日中の中国青年卓球代表団の一行が、日中親善の一環として静岡県磐田市のヤマハ本社工場見学に訪れました。

一行は、元世界チャンピオンの荘則棟氏を団長とする十八才から二〇才までの若手男女選手二十八名。

ヤマハ本社では、全社員の歓迎の拍手に迎えられ、まずは会議室へ、ここで、ヤマハ側の代表と挨拶を交わしたあと、ヤマハの全容

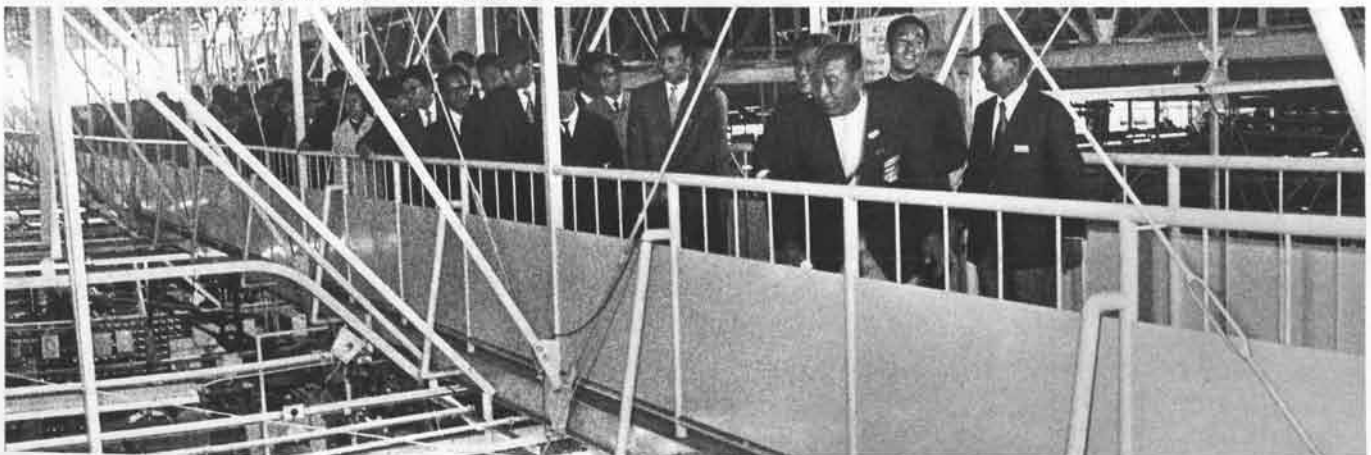


▲ニーハオ！ヤマハ代表と親善の握手をかわす荘則棟団長

を紹介する中国語スライドを観賞。ヤマハの規模の大きさに、大いに感心した様子でした。

その後、生産ラインが立ちならぶ本社工場を見学。若い選手たちは、つぎつぎに生産されていくヤマハオートバイに熱心に見いつていました。

時間の都合で、ヤマハのすべてを見学することはできませんでしたが、選手たちは名ざりおしそうにバスから手を振りヤマハをあとにしました。



▲ズラリ並んだ生産ラインに、思わず立止まって注目している姿もしばしば

# '72マカオGPに圧勝!



New TR3  
大活躍で  
ヤマハハ  
六連勝

極東でも有数のロードレースのビッグイベント・'72マカオGPは、昨年十一月二十五日と二十六日の両日、ポルトガル領マカオ市内の特設コース・一周六キロで行なわれた。

ことして十九回目を迎えるこの大レースにおけるヤマハの人気は、歴戦の圧勝ぶりで見知の事実。

今大会には、特に、昨年シンガポール、マレーシアなどのGPでも大活躍、東南アジアでの人気もひときわ高まっている高井幾次郎、小田豊のブレイクメイティングの両エースも参加。またワールドワイドMCからは輝井嶂、久保信男の二選手が、いずれもTR3を駆って出場した。

まず二十五日のセニアオープンレースではスタンダードのままのRX350で小田豊選手が、ノートン750、スズキ380といったビッグマシンに30秒以上もの差をつけて圧倒的な勝利をおさめた。



GPレースのスタート。高井/小田ペアはスタートから早くも圧倒的な差をつけてとび出した。

表彰台はTR3で圧勝のヤマハトリオで独占。右から小田、高井、輝井の3選手。





英王女をガードするヤマハ白バイ。これは香港からの便りです。  
先ごろ英王室のアレキサンドラ王女一行が香港を訪れ、各地で盛大な歓迎を受けました。どこの国でも、このような大切なお客さまを迎えるに当り頭を悩ませるのが、護衛の問題です。

## イギリス王女をガードするヤマハ

香港当局はこのアレキサンドラ王女一行の護衛を数十台のヤマハの白バイで固めました。大任をおおせつかったのはXS650E、抜群の安定性と高い機動力が買われたわけですが、XS650Eが、みごとこの大役を立てました。これはたまたまではありません。



レコードラップを樹立して、快調にトップをつつ走る高井③/小田⑥ペアとヤマハTR3。

そして、二十六日メインイベントのGPでは、TR3の日本人ライダーがトップを独占。高井幾次郎、小田豊ペアが快調にトップ争いを演じ、新記録のワン ツーでフィニッシュ。しかも、三位の輝井選手以下には二分もの差をつけ、ゴールインのときには三位以下の選手は前方を走っていたというほどの圧勝ぶりであった。なお、輝井選手は三位、久保選手が四位に入り、文字通り72マカオGPはヤマハと日本人ライダーの大活躍で終った。

これで、ヤマハのマカオGP連覇は、昨年の本橋/三室ペアのワン ツーにつづきなんと六年連続ということで、つめかけた7万5千人もの大観衆はもとより、テレビ、ラジオ新聞とマスコミも、この「ヤマハ圧勝」のニュースで大いに湧き立ったものであった。



セニアオープンでは、ごらんとおりスタンダードのRX350(小田豊選手)が、ビッグマシンをぶっ切って快勝。

## ロンドンショーでも人気のマト!



日本では東京モーターショーの興奮もさめやらぬ頃、海の向うロンドンでも恒例のロンドンショーが、内外のオートバイを多数集めて開催されました。

会場のアールズコートエキジビションホールには、日本同様連日若いオートバイファンが詰めかけ、いずこも同じ大盛況ぶりをみせていました。

もちろん、ごらんのとおりの美女も加わってここでもヤマハの人気は最高。メイトからTX750まで、2&4ヤマハがイギリスの若者たちの人気を大いにさらっていたものです。



Grade-upで新発売

# YAMAHA MINI GT50/80

タウン走行に、スポーツランに、そして本領のトレールランに、まったくユニークなオールラウンドプレーヤー・小さな大物「ヤマハミニ」が、乗りやすさの決め手「トルクインダクションエンジン」を搭載して新登場です。

その名もGT50、そして一段とゆとりの80cc・GT80の二機種。

カラーリングも、ハイパークルレッド、ハイパークルライトグリーン、ハイパークルブルーの三色。

いずれも、黒フチ取りのホワイトライン入り。

すべてに大きくグレードアップのヤマハミニGT50/80、どうぞよろしく。

全長(mm)	1,610	内径×行程(mm)	40×39.7
全巾(mm)	690	圧縮比	6.8:1
全高(mm)	930	最高出力(PS/r.p.m)	4.0/7,500
車輻重量(kg)	62	最大トルク(kg-m/r.p.m)	0.45/5,000
舗装平坦路燃費(km/l)	80/(30km/h)	燃料タンク容量(l)	4.8
登坂能力(度)	20°	変速機形式	常時噛合式前進4段
総排気量(cc)	49		



YAMAHA MINI GT50

全長(mm)	1,610	内径×行程(mm)	47×42
全巾(mm)	690	圧縮比	6.8:1
全高(mm)	930	最高出力(PS/r.p.m)	4.9/6,500
車輻重量(kg)	64	最大トルク(kg-m/r.p.m)	0.55/6,000
舗装平坦路燃費(km/l)	75/(30km/h)	燃料タンク容量(l)	4.8
登坂能力(度)	20°	変速機形式	常時噛合式前進4段
総排気量(cc)	72		



YAMAHA MINI GT80

# 冬を暖かく安全に！ お店の売上げアップに貢献する ヤマハ冬期用ウェアをどうぞ！！

豊富なバラエティで好評のヤマハウェア。  
中でも、防寒用ウェアが重宝がられる今日  
このごろです。

すでにおなじみキルティングジャンパー、  
スノーモビルルックに加えて、防寒用ツナギ  
服も新発売。

いずれもヤマハオリジナルのファッション  
感覚にあふれるもの。お店をはなやかにいろ  
どり、お客さまの冬を暖かく安全にお過ごし  
いただくために、ヤマハ冬期用ウェアをお  
店でもぜひどうぞ。



## 防寒用ツナギ服

お店のみなさまの作業衣として、またお客  
さまのツーリングウェアやクラブのユニフ  
ォームなどとしてもピッタリのヤマハオリジ  
ナルのツナギ服。

特にこの防寒用ツナギ服は、上半身部裏側  
にキルティング加工を施し、保温性には特に  
すぐれ、冬場の機動性、作業能率も大幅アッ  
プです。

カラーはブルー、肩から袖にかけて赤白青  
のラインが入ったシャープな感覚のもの、ま  
さに行動的な冬をつくるニューウェアです。

サイズはS、M、L、LL 価格5,500円



▲上半身裏地はキルティングで暖かさ最高。

◀左右両胸、左右後部、そして前側左右にもポケットがついて一段と機能的に

## スノーモビルルック



おなじみスノーモビ  
ルルックの普及品。楽  
しいスノーモビルを安  
全に、より使いやすく  
とヤマハオリジナルの  
デザイン。北国の防寒  
衣としても最適です。

カラー青、赤。いず  
れもストライプ入り。  
サイズM、L、LL、  
価格9,800円

## キルティングジャンパーCY14

昨年からすでにご好評のライダ  
ーズウェア。スタンドカラーの  
中にはフードが納められています。

カラーは青、赤。いずれもシル  
バーライン入り。サイズM、L。  
価格4,800円

